

狭山ヒメボタルを守る会

西除川河川敷の清掃作業（ヒメボタルの生息地）



当日収集した清掃活動の成果

平成 28 年 11 月 13 日(日)午前 10 時より、ヒメボタル生息地で知られる西除川河川敷の清掃活動が行われました。約 20 名のボランティアの方々に 2 班に分かれ、河川敷にある枯れ木や落ち葉を手際よく集めながら袋詰めを行い、高齢者の男女性が重い袋を背中に背負って所定の集荷場所に運ぶ。

毎年、年 2 回（5 月と 11 月）の清掃作業は狭山ヒメボタルを守る会の会員が中心である。

今回、大阪狭山市市民活動センターVIC の仲介で、帝塚山学院大学より 4 名（男子 2 名、女子 2 名）と VIC スタッフのボランティアが参加した。

毎年、5 月～6 月にかけて、多くの人たちに感動と癒しを与え、楽しいひと時を体験できるのも、こうした定期的に清掃活動が行われている。次回は来年のヒメボタル鑑賞（5 月～6 月）できる前に（5 月）清掃作業がある。是非、ボランティア協力をお願いしたいとのことである。

取材コメント

ヒメボタルは生活環境が破壊されると絶滅し再生ができないそうです。

会員も年々高齢化して若い層がなかなか入会してこない現状、より長く大阪狭山の名所であるためにも、多くの若いボランティアの人が必要である。素晴らしい「ヒメボタル観賞」ができるのは、このような日頃の管理等があつてのことだと痛感した。また、来年の 5 月に多くの「ヒメボタル」が観られるように多くの人たちに、こうしたたゆまない努力をもっと知ってもらいたいと思う。

当日清掃したエリア

